

継続事業評価シート

評価実施日 令和3年3月31日

令和2年度(4年目)

事業コード	41	事業名	自主財源確保事業			戦略コード	5	戦略名	環境変化に強い商工会		
担当部名	企業振興部	担当課名	創生プラン推進課	担当課長名	加藤のり子	施策コード	21	施策名	環境変化に備える中長期財政運営計画の策定		

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

廃業や高齢化等による会員数の減少には依然として歯止めがかからず、会費・手数料収入についても、年々減少傾向にある。また、商工会館の老朽化による改修費用や維持管理費の増加など将来予想されるコストへの準備等について、商工会の財政基盤の強化が喫緊の課題となっている。

2. 事業のねらい

財政運営について、将来の県補助金の見込みが不安定であるため、商工会財政の基盤強化に向けて経営指導等を根拠とした新たな収入源(自主財源)の確保を検討する。

3. これまでの評価結果

過年度	H29	C	H30	B	R1	A	R2
-----	-----	---	-----	---	----	---	----

財政基盤強化プロジェクトチーム会議にて会費、手数料のあり方について検討を行い、今後の自主財源確保の道筋を整理した。

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

補助金の減額や会員数の減少に伴う会費収入の減少に備えるため、商工会の新たな収入確保に向けた検討を行い、会費及び手数料基準等について見直しを行う。

【取組評価】

取組コード	取組	実績	必要性	有効性	効率性	総合評価
95	財政基盤強化プロジェクトチーム会議での検討	課題検討会において経営指導の有料化等について議論するとともに、県連合会内部で財政シミュレーションの更新等について検討を行った。	a	b	b	B

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

取組コード	取組					取組コード	取組					取組コード	取組				
指標名	指標名					指標名	指標名					指標名	指標名				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標						目標						目標					
実績						実績						実績					
達成率						達成率						達成率					
達成度						達成度						達成度					

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】現状の課題に照らした妥当性 【取組評価】の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) a

(評価の理由)

会員数減少による会費や手数料減少が予想されることから、商工会の自主財源について現状分析を行い、今後の課題を整理することにより、改善策を検討していくことが重要である。

【有効性の観点】事業目標の達成状況 【取組評価】の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) b

(事業の目標は達成されているかどうか)

2期プラン策定に向けて、課題検討会において経営指導の有料化を議論するとともに、商工会からの基礎データを点検し自主財源確保策について検討を行った。

【効率性の観点】コスト(金銭・時間・人材)縮減のための取組状況 【取組評価】の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) b

(コスト縮減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由)

県連合会が示した策定手順に基づき商工会自主財源の基礎データを活用し、県連合会内で分析を実施した。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(改善が必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 B

将来を見据えた戦略的な施策検討会や持続的発展が可能な組織・運営検討会において、財政確保や新たな事業について検討を行った。検討した内容は2期プランの策定に取り入れていく。

3. 課題

財政基盤の強化に向けて、新たな収入の確保が必要である。

4. 今後の対応方針(改善点)

財政基盤強化プロジェクトチーム会議において、商工会の会費や手数料などの内容を分析し、基準の見直しや新たな収入確保について研究する。